

科目	言語文化	単位	3	学年	1
使用教科書	「高等学校 言語文化」(第一学習社)			副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版) 「新しい古典文法」(桐原書店) 「新しい古典文法 演習ノート」(桐原書店) 「漢文必携」(桐原書店)

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもっている。

年	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法		
一学期	古文の学習	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 		○		授業態度 発問評価 評価シート		
	児のそら寝 古文を読むために1	<ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 積極的に語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしている。 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 	○		○	授業態度 プリント提出 発問評価 定期考査 評価シート		
	なよ竹のかぐや姫	<ul style="list-style-type: none"> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。 	○		○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート	
	伊勢物語 〔歴史の窓〕 古文を読むために3	<ul style="list-style-type: none"> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 わかったことを積極的に伝え合おうとしている。 	○		○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート	
	訓読に親しむ 漢文を読むために	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 訓読のきまりを理解する。 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。 	○	○		○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	漁父之利 狐借虎威	<ul style="list-style-type: none"> たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 訓読のきまりを理解する。 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解しようとしている。 	○		○		○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート

学期	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
	枕草子 古文を読むために4 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	徒然草 古文を読むために6 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 主として敬語について文語のきまりを理解する。 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	完璧	<ul style="list-style-type: none"> 史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。 史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 訓読のきまりを理解する。 積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
二期	土佐日記 古文を読むために5	<ul style="list-style-type: none"> 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 主として助詞について文語のきまりを理解する。 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	先従隗始	<ul style="list-style-type: none"> 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 訓読のきまりを理解する。 積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	唐詩の世界 漢詩のきまり 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 漢詩のきまりを理解する。 漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	日本の漢詩 漢詩のきまり 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 漢詩のきまりを理解する。 我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係に理解を深めている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 〔古典のしるべ〕 和歌の伝統と継承 古文を読むために7	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、和歌の特色を捉える。 和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 主として枕詞や序詞などの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート 学習プリント
	整のうへ（三好達治）	<ul style="list-style-type: none"> 文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 学習プリント 評価シート
	自分の感受性くらい（茨木のり子）	<ul style="list-style-type: none"> 現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。 「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に話し合おうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート 学習プリント

学期	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法	
	I was born (吉野弘)	<ul style="list-style-type: none"> ・散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 ・「僕」「父」の心情など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。 		○		授業態度 発問評価 定期考査 学習プリント 評価シート	
	その子二十	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート 学習プリント	
	こころの帆	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート 学習プリント	
三学期	平家物語 〔古典のしるべ〕 和漢混交文	<ul style="list-style-type: none"> ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 	○	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	奥の細道 〔古典のしるべ〕 『奥の細道』と 和漢の文学	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている作者の人生観や旅の意味と言った、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。 	○	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	臥薪嘗胆	<ul style="list-style-type: none"> ・やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・登場人物の言動を粘り強く読み取り、そこに表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えようとしている。 	○	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	論語 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするとところを粘り強く説明しようとしている。 	○	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート